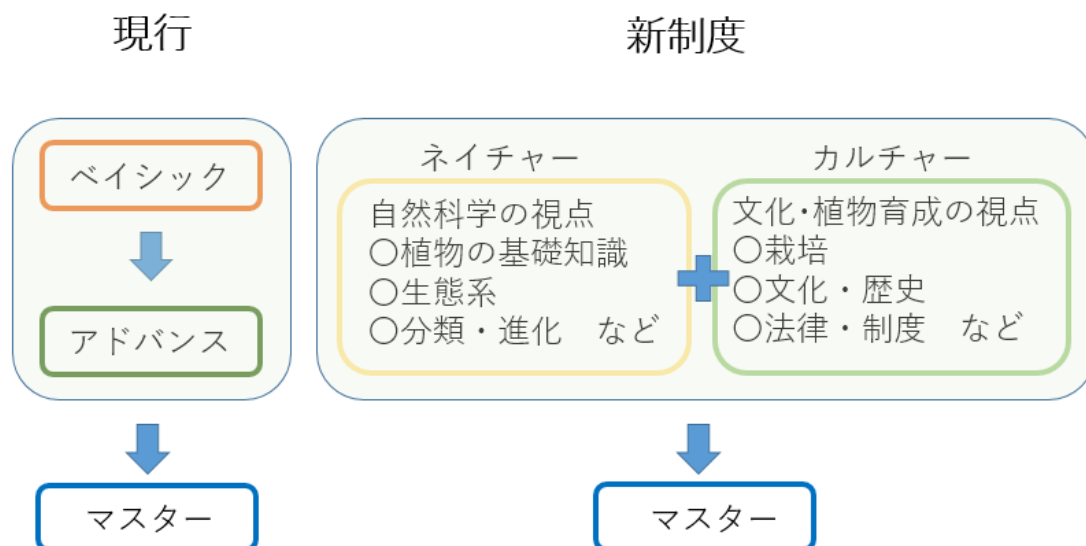


2020 年度から、グリーンセイバー検定制度が変わります。

ベーシック、アドバンスがネイチャー、カルチャーに

現行のベーシック、アドバンスは 2019 年で終了します。現在のベーシック、アドバンスの内容は、重複する部分があり、情報も時代に合わせて新しくしていく必要があります。新しい制度ではそれらが統合、情報も見直され、習得すべき内容が大きく自然科学的分野(ネイチャー)と人文科学的分野(カルチャー)の 2 科目に分かれます。ネイチャーでは、植物の各部の働き、植物の生活史、植物の分布、生態系のしくみ、自然史などが含まれます。一方、カルチャーでは、植物の栽培方法、人と植物との関係に関する文化・歴史、自然保護に関する法律や制度などが含まれます。テキストや試験内容はこれまでのベーシック、アドバンスのテキストの内容をベースにしていますが、新しい情報や更新された情報が加わってきます。なお、ネイチャーとカルチャーは同時受験が可能です。



マスターや、その受験資格について

新制度では、ネイチャー、カルチャーの両科目を取得するとマスター受験資格が得られます。どちらを先に取得しても構いません。これまでのベーシック取得者はネイチャーの取得者と同等の扱いとなり、アドバンス取得者はネイチャー、カルチャーの取得者と同等の扱いとなります。すでにアドバンスを取得している方は、現行と同じようにマスターを受験することができます。2019 年までにベーシックのみを取得している方は、2020 年以降にカルチャーを取得すると、マスター受験資格が得られます。なお、マスター検定のテキスト、試験内容は当面の間、変更はありません。

